

JR東日本グループの環境保全活動をお知らせし、さらにレベルアップするために、お客さまや沿線地域の皆さまとのコミュニケーションを大切にしています。広報には、新聞や雑誌、列車の中吊り広告、テレビCMなどのマスメディアをはじめとし、Webや社会環境報告書、お子さま向けの小冊子とさまざまな媒体を使って、効果的に行っています。

環境コミュニケーション

エコロジーキャンペーン

JR東日本では、お客さまや沿線地域の皆さまへ環境の大切さを訴えるとともに、JR東日本の環境保全活動を広くお伝えするエコロジーキャンペーンを、毎年実施しています。

2002年度は、1月に東京駅と仙台駅で映像やパネルにより当社の取り組みを解説したほか、お子さま向けの小冊子の配布も行いました。さらに、12月にはエコプロダクツ展へ参加し、3月にはWWFジャパンが主催したWWFグリーンパワーウィークに協賛し、日本科学未来館での展示を行いました。このほかにも、新聞や雑誌、テレビCM、車内ポスター、インターネットなどのメディアを通じて、環境に関する広報活動を展開しています。



日本科学未来館での展示も
お子さまに好評でした

JR東日本ホームページ
エコロジーページ
<http://www.jreast.co.jp/eco/>



「つくるエコ」をキャッチフレーズにさまざまな取り組みを紹介

森づくり

1992年に中央線四ッ谷駅など11カ所において行った植樹をはじめとし、毎年「鉄道沿線からの森づくり」として各支社で植樹を行っています。これは、JR東日本グループ社員のボランティア活動によるもので、地域の皆さまにも参加していただいています。2002年度までに11年間で約2万7,000人が参加し、22万本を植樹してきました。

また、2000年度より北海道道南の大沼において、「大沼ふるさとの森づくり」を実施しています。これはJR東日本とJR北海道が設立した「大沼ふるさとの森づくりの会」が、社内外のボランティアを募って、国際的な植生学者である横浜国立大学名誉教授の宮脇昭先生のご指導のもと、ドングリを拾い、ポット苗をつくり、育てた苗を道内各地に植樹するものです。2002年度には、約700人の参加者が4万5,000個のポット苗をつくりました。



「鉄道沿線からの森づくり」にはJR東日本グループ社員からの募金も活用しています



社内外のボランティア参加者にも人気の「大沼ふるさとの森づくり」

エコツーリズム

JR東日本では、各地の素晴らしい自然との関わりをテーマにし、自然を体験するさまざまな旅を提供しています。

2002年度には「白神山地ブナの学校」「花の山登山」などのツアーに約1万人の方々のご参加をいただきました。また、長期滞在型ホテル「フォルクローロ」「ファミリーオ」を拠点に、その土地の自然や文化と触れあう旅を「LO-COクラブ」として提供し、約1万4,000人の方々にご利用いただきました。

さらに、各地の駅を起点とし、四季折々の絶景ポイントを味わいながら気軽に散策を楽しんでいただく「駅からハイキング」も実施しています。これは、事前のご予約が必要な「イベントコース」と、ご予約が不要な「おすすめコース」があり、「イベントコース」だけで2002年度は約400回実施し、約15万人の方々にご利用いただきました。



「ファミリーオ」は営業エリア内の観光地など7カ所にあります(写真は新治)



「駅からハイキング」にはお好きなときに楽しめるコースも用意しています